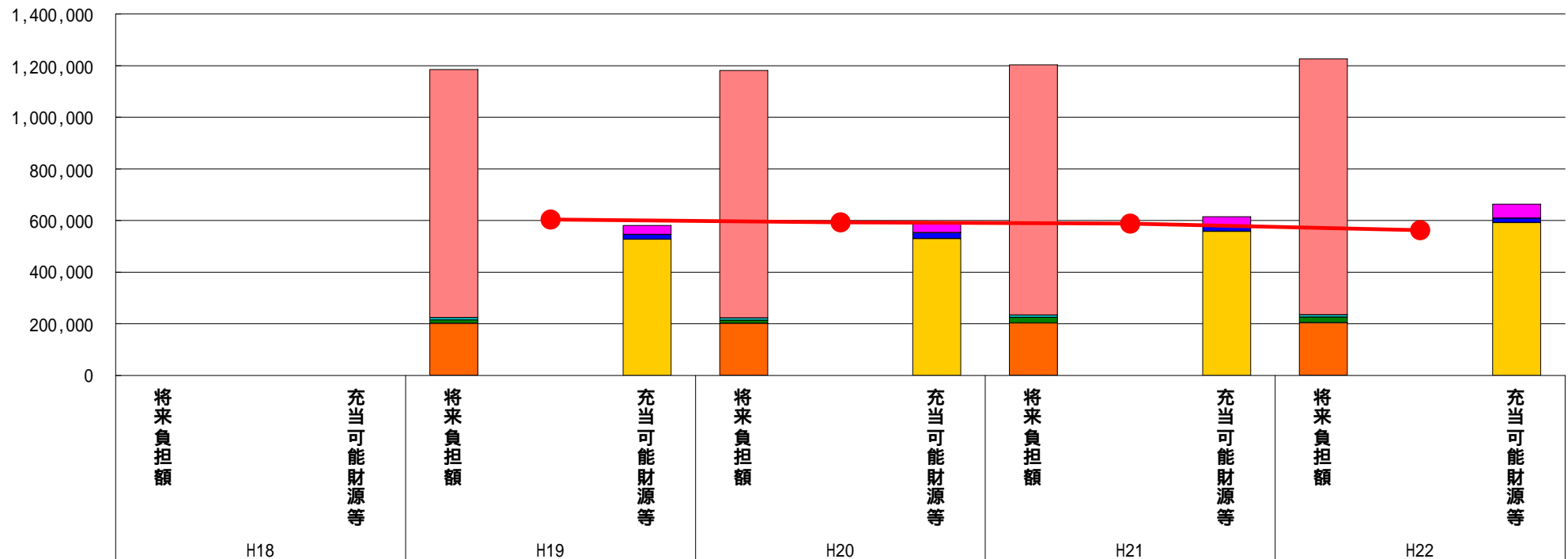


# (8) 将来負担比率(分子)の構造(都道府県)

平成22年度

愛媛県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	961,053	958,562	970,114	991,151	
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	8,905	8,602	8,283	8,287	
	公営企業債等繰入見込額	-	13,320	12,433	22,346	22,450	
	組合等負担等見込額	-	-	-	-	-	
	退職手当負担見込額	-	201,673	201,723	202,445	204,169	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	57	77	18	27	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	
充当可能財源等(B)	充当可能基金	-	35,852	36,258	36,361	55,391	
	充当可能特定歳入	-	18,560	21,916	19,733	17,090	
	基準財政需要額算入見込額	-	527,053	530,438	558,405	591,402	
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	603,544	592,785	588,708	562,200	

## 分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高の増は、交付税措置のある臨時財政対策債の残高が増加したことによるものであり、事業削減による建設地方債等残高の減に伴い、将来負担比率の分子は減少している。

また、県の財政構造改革基本方針に基づく取組みを徹底し、財政基盤強化積立金、県債管理基金などを積み立てたことにより、充当可能基金が増加した。

今後も将来負担に配慮し、地方債発行を行うなど、引き続き財政運営の適正化に努める。